

それでも巨額! トヨタの内部留保 13兆円

下請は悲鳴 単価切り下げやめよ



深刻な不況が日本経済を襲っています。トヨタは、収益減(08年)になったと宣伝していますが、それでも内部留保は13兆円を超えています。いまこそ、内部留保を社会に還元し、下請の経営・雇用の安定にむけて社会的責任をはたすことが問われています。

期間従業員の 使い捨てやめよ

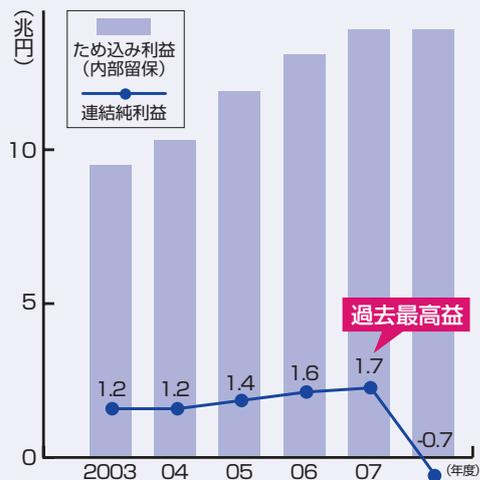
景気や生産状況によって、期間従業員を雇い止めしたり、採用したり…。

トヨタはまさに労働者を雇用調整弁として、使い捨てています。

本来、正規社員として採用すべきなのに、期間従業員を低賃金でしかも2年11月で雇い止めすることは、労働者が安心して仕事も生活もできません。

トヨタは、労働者の雇用についても社会的な責任をはたすべきです。

巨額の利益をため込むトヨタ自動車



(注) 内部留保は「2010 国民春闘白書」から

第31回トヨタ総行動

日時: 2月11日(木・休日) 正午から

場所: 豊田市・山之手公園

内容: 決起集会・デモ行進

駅頭・市内宣伝行動

愛知県労働組合総連合・愛知春闘共闘委員会

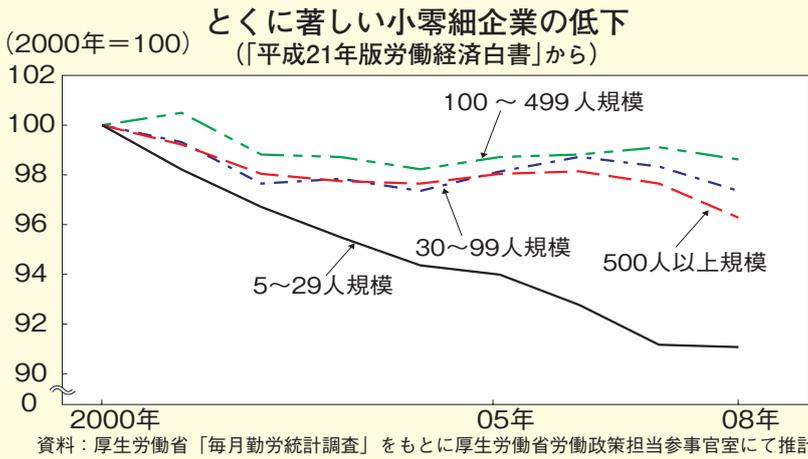
<連絡先> 愛知県労働組合総連合 〒456-0006 名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3F
電話 052-871-5433 FAX052-871-5618 E-mail post@airoren.gr.jp

この先、どうなるのか？

見通したたないくらい

デフレ

2000年を基準として各規模で低下する 所定内給与の推移



2010春闘

深刻な不況とともに、デフレが進行し、すべての労働者の賃金が減少しています。税金や社会保障負担は増える一方、可処分所得は低下。個人消費の落ち込みが小売業を直撃、新たなリストラがはじまっています。

今こそ「賃上げは当然」の

声をあげよう

賃金切り下げ スパイラル STOP!!

09年冬の一時金は、大企業もふくめ軒並み減額、中小企業のなかではゼロというところもありました。家のローンや子どもの教育費など、出費がかさむのに、労働者の収入は減額される一方です。

不景気だから仕方がないのでしょうか？

そうではありません。トヨタなどの大企業は、不景気でも内部留保を増やし、株主の配当金を増やしてきました。

賃金の減少→消費停滞→売上げ減少→人減らし・賃金削減という「負のスパイラル」を断ち切るために、2010春闘で「賃金引き上げを」の声を大きくしていきましょう。

これこそ日本の経済を外需依存から内需中心の経済に転換していく第一歩です。

賃金切り下げ競争をストップさせるには、今春闘で労働者の賃金引き上げと最低賃金の引き上げが必要です。大企業がため込んだ241兆円(資本金10億円以上)の内部留保をはき出せば可能です。内需拡大のためにも「賃上げは当然」です。